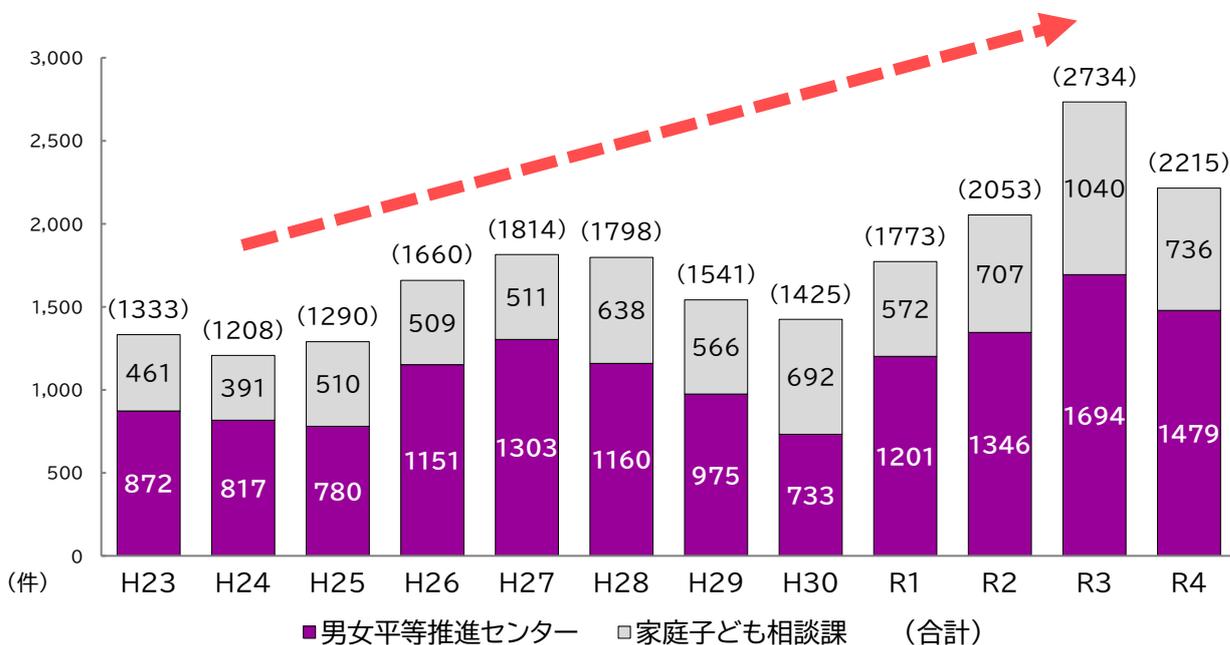


10 DVに関する状況

重点分野:犯罪・暴力の予防

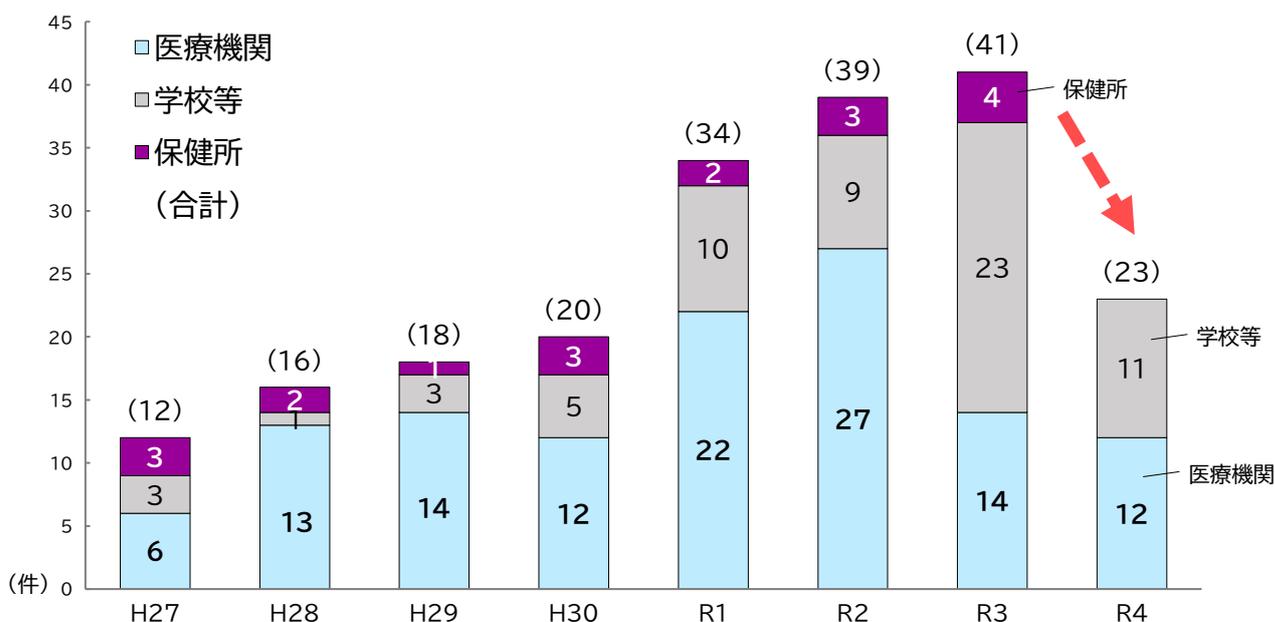
(1) [図 10-1]DV の相談件数 (男女平等推進センター、家庭子ども相談課集計)

DV の相談件数は長期的には、増加傾向にある。



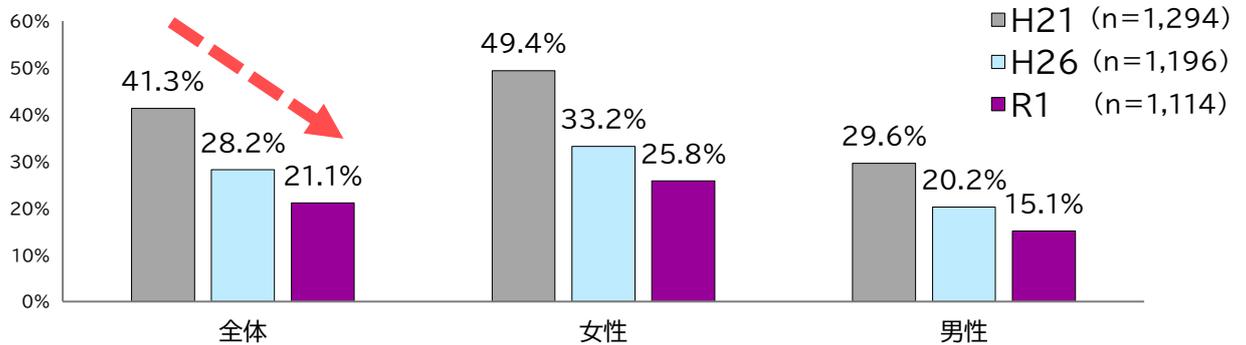
(2) [図 10-2]他の機関から相談に繋がった件数 (男女平等推進センター、家庭子ども相談課集計)

他機関からの相談件数は増加傾向にあったが、令和4年度は減少している。



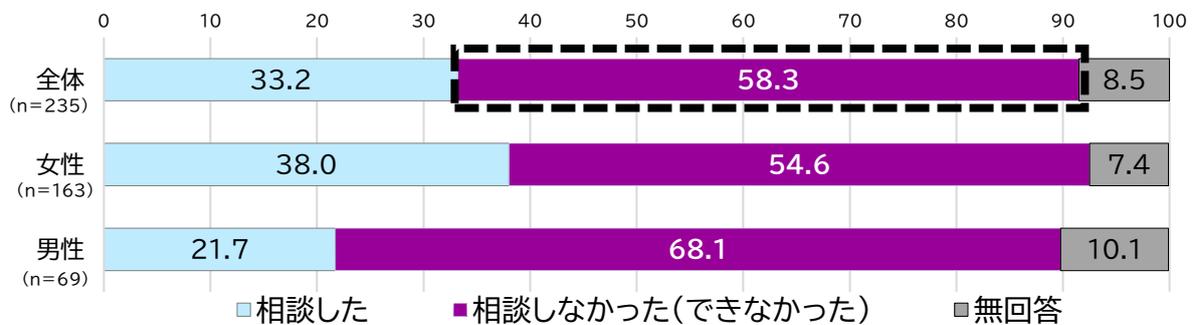
(3) [図 10-3]DV を受けた経験がある人の割合 (久留米市男女平等に関する市民意識調査)

DV を受けた経験がある人の割合は減少傾向にあるが、現在もなお、約 4 人に 1 人の女性がパートナーから暴力を受けた経験を持っている。



■[図 10-4]DV の被害経験の相談の有無について (久留米市男女平等に関する市民意識調査)

また、R 1 年の調査では、DV を受けた経験のある人のうち、58.3%の人が相談できていないと答えている。



(4) [図 10-5]「男は仕事、女は家庭」という考え方に関する割合 (久留米市男女平等に関する市民意識調査)

「同感する」と「ある程度同感する」を合わせた“同感する”の割合が減少している。

